

# 看護師になる決意を胸に 心を一つにして臨む戴帽式

## 花巻高等看護専門学校

本格的な臨地実習を前に、学生一人ひとりがナイチンゲール像から看護の灯とその心を受け継ぐ「戴帽式」を行っている花巻高等看護専門学校。この式典にはどのような思いが込められているのでしょうか。教務主任と式典に参加した学生にお話を伺いました。



教務主任  
小松 和代 さん



ナイチンゲール像から灯を受け取る戴帽生の表情は、真剣そのもの



“看護師になる”決意を込めて、皆でナイチンゲール誓詞を宣誓



「命を預かる専門職の責任の重さを胸に刻み、実習に臨みたい」と藤原さん

### 新たな決意のもと 看護の道に進む区切りの式典

本校の戴帽式は、看護の基礎を履修し、新たな決意を持って看護の道に進むひとつの区切りとして、1年生の10月中旬に行っています。

厳粛な雰囲気の中、戴帽生が呼ばれ、実習先である総合花巻病院の看護部長からナースキャップを頂きます。その後、学生一人ひとりがナイチンゲール像から灯を移しとり、会場内を一步一歩思いを込めながら進みます。そして舞台上に整列し、ナイチンゲール誓詞を全員で唱え、その後、代表者が答辞を読みます。保護者の前を戴帽生が通るので、間近で我が子の成長を見ることができます。

心を一つにして唱えたナイチンゲール誓詞は、看護を学ぶ仲間との絆が現れ、学生の凛とした表情に看護師を目指していく決意を感じます。入学後半年という短い期間に大きな成長が見られ、私たちも、看護を職業とする仲間としてこれからも大切に育てていきたいと感じます。

この先の臨地実習では、辛いことや迷うこともあるでしょう。その時はクラスの仲間、教職員、実習指導者に相談して下さい。どんな時も患者さんの安全と安楽を考えながら、誠意をもって看護を提供できる看護師になれるように応援していきます。

### 責任の重さや仲間の大切さ、看護への思いを込めた答辞



藤原 麻衣さん  
2年生  
花巻南高等学校 卒業

戴帽式は、自分自身が看護師への道を歩み始めたことを、強く再認識させてくれる式典です。

本校の戴帽式には、全員でのナイチンゲール誓詞の宣誓と、代表者による答辞があることが特色です。クラス全員で、タイミングを揃えてナイチンゲール誓詞を言うよう、昼休みや放課後に練習をしたのは、良い思い出です。また、私はクラス代表として、答辞を読み上げました。答辞には、これまで私が学んだ中で培った看護への思いと、クラス全員の看護師の道を進んでいくという決意を込め、看護の先輩方や両親に伝わるような自分の言葉で表しました。

戴帽式を経て、クラス全員の“看護師になる”という思いが一つになりました。ここからさらに自分の中の「看護」を探求、成長させていきたいです。

#### School Data

##### 花巻高等看護専門学校

〒025-0088  
岩手県花巻市東町12番5号  
TEL 0198-22-4133(代)  
URL <http://hanakan.ac.jp/>

#### School Information

看護師の道を選択された皆さんの夢を実現できるよう、教職員が一丸となり、人間性豊かな看護師の育成を目指して看護教育に取り組んでいます。

##### 【出願期間】

- 推薦入学試験  
10/13(火)～10/23(金) 必着
- 一般入学試験  
11/30(月)～12/11(金) 必着



# 小児看護で大切な プレパレーションの意味を考え実践する

葵会仙台看護専門学校

小児看護において、今後、患児に実施する治療方法などを本人が十分に理解するために、プレパレーション<sup>\*1</sup>が大切です。小児看護学援助論Iでは、ロールプレイ<sup>\*2</sup>を用いてその意味や思考を学びます。担当の庄司先生に伺いました。

※1 小児に対する倫理を考慮した上で、子どもが入院や治療、検査を受けるときに行う、子どもの発達に合わせた説明や配慮のこと  
※2 臨床で出会う場面を想定して役を演じ、疑似体験を通じて学習すること



専任教員  
庄司 宗和 さん



プレパレーションのロールプレイを皆の前で実演し、振り返りを行う



検査のロールプレイも行う。声掛けなどにグループの連いが出る



学生が作成した、プレパレーション用の教材。どれも工夫が凝らされている

## 学生の感性を尊重しながら ロールプレイで実践力を養う

患児も一人の人間として、治療や検査の説明を受ける権利を有しています。しかし、大人に比べ、年齢によって理解が難しいことも多いため、小児看護において、プレパレーションを行い、治療や検査に対する不安を和らげ、納得して治療を行えることが重要になります。2年次の小児看護学援助論Iでは、1つの事例に対してグループワークを行い、全員の前でプレパレーションの一場面を学生が演じるロールプレイを実施。振り返りを行うことで、さまざまな状況に対応できる力を養います。

大切にしているのは、学生の感性。学生が事例の患児に対して「こうなつて欲しい」、こんな工夫をしたら患児と家族が安心して検査を受けられるのでは、など思ったことは、できる限り物品を作成し、ロールプレイで実践してもらいます。授業を受けた学生からは、「さまざまな立場の気持ちを理解することができた」「プレパレーションの方法は、同じ事例でも多様であり、看護師の技量が問われる」となどの感想が届いています。

授業を通して、学生の柔軟さや想定以上の思考力を感じる事ができました。学生には、自分たちの感性を大切にしながら、身近にいる子ども達に関心を抱き、実習のみならず、日々の生活の中にある看護に気付き、視野を広げてもらいたいですね。

### School Data

#### 葵会仙台看護専門学校

〒984-0038  
宮城県仙台市若林区伊在二丁目14番地5  
TEL 022-380-1122 (代)  
URL <https://sendaikango.isu.ac.jp/>

### School Information

2017年開校。高度化する医療現場に対応できる最新の実習室を完備し、実務経験豊富な教員が学習をサポート。地域社会に貢献する、人間性豊かな看護師を育成しています。

●オープンキャンパス  
11/7 (土)、12/5 (土)、  
2021/3/27 日 (土) 9:00 ~ 12:00

## 発達段階に合わせた言葉選びや表現、傾聴の大切さを学ぶ

小児看護学援助論Iでは、プレパレーションのロールプレイなど、実践的な演習を行い、患児の不安や小児を取り巻くさまざまな諸問題を理解し、それに伴う適切な看護援助方法について学びました。

腰椎穿刺<sup>※</sup>をはじめて行う患児に対するプレパレーションのロールプレイを実施した際、言葉選びや表現の仕方一つで、患児・家族に与える印象や信頼感が大きく変わってくると感じ、患児の発達段階に合った分かりやすい言葉を用いながら、患児が主体的に参加できるように支援することの大切さを感じました。

この授業を通して、患児の理解度を共通認識することの大事さを学びました。理解度を知ることは、自己決定を尊重する上で欠かせないと感じたため、心境の変化や発言に耳を傾け、不安の表出がしやすい環境作りにも力を入れていきたいです。

※腰椎(腰椎くも膜下腔)に中空の針を体に刺して内部の液体を吸引すること。脳脊髄液の採取や脊髄圧の測定などを目的に行われる



吉田 ころろ さん  
2年生

仙台大学附属明成高等学校 卒業